



阪神・淡路大震災から30年

発行：府中市 編集：総務管理部防災危機管理課
〒183-0056 府中市寿町1-5 中央防災センター
電話：042-335-4098 FAX：042-335-6395
メールアドレス：bousai01@city.fuchu.tokyo.jp

1995(平成7)年1月17日午前5時46分。

まだ暗い真冬の早朝に大都市を襲った地震は、観測史上初の震度7を記録する大災害を引き起こしました。

この地震により死者6,434名、負傷者43,792名、被害住家は約64万棟にものぼり、甚大な被害を前にして地元
の消防機関や行政による「公助」だけでは対応しきれない状況となりました。

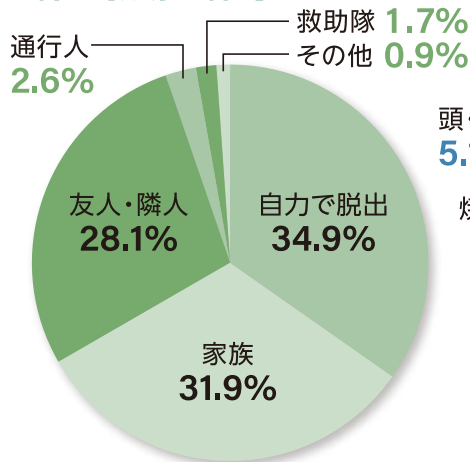
一方で、家族による「自助」やご近所、地域コミュニティ、民間企業などによる「共助」の助け合いと支え合いが
極めて重要であることが認識された災害でもありました。

この震災の教訓を生かし、今後起こり得る災害に備えて私たちは何をすべきか今一度考える必要があります。

※死者数・負傷者数・住家被害棟数は、「阪神・淡路大震災について(確定報)(平成18年5月19日 消防庁)」のデータ

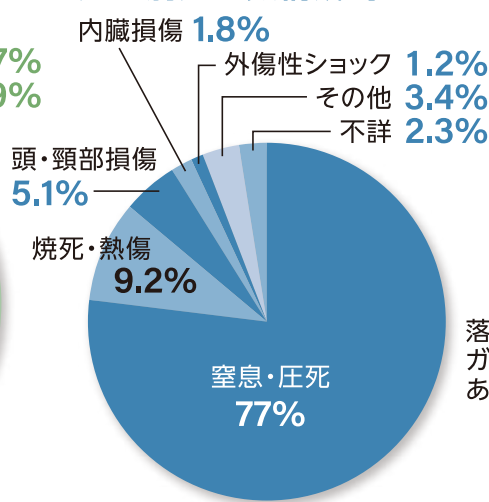


阪神・淡路大震災における 生き埋めや閉じ込められた 際の救助主体等



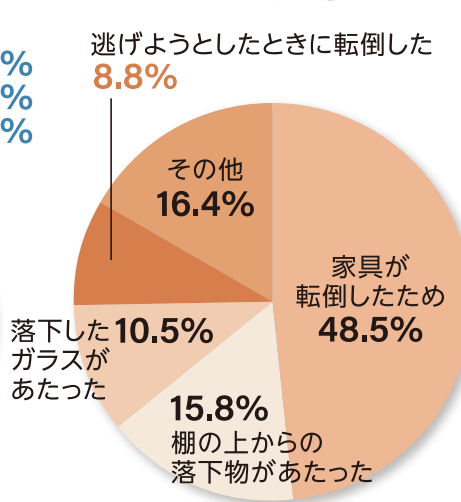
出典：内閣府 平成26年版 防災白書

阪神・淡路大震災における 死因別死亡数構成割合



出典：厚生省「人口動態統計からみた
阪神・淡路大震災による死亡の状況」

阪神・淡路大震災における けがをした人の原因



出典：平成7年2月神戸市消防局調査

阪神・淡路大震災で亡くなった方の多くは
家屋の倒壊による圧死や窒息死でした。

このため、「建築基準法」の改正や建物の耐
震診断、耐震改修を進めるための「耐震改修
促進法」が後に整備されました。

また、被災者の住宅再建を支援するための
「被災者生活再建支援法」も整備されました。

さらに、阪神・淡路大震災では多くの市民ボ
ランティアが被災地に駆けつけ、救援や復旧
活動に欠かせない存在となったことから震災
が起きた平成7年はボランティア元年とも言わ
れ、後にボランティア活動を行う団体を後押し
することを目的とした「特定非営利活動促進
法」が制定されました。

夢であってほしい

「娘を助けて!」と母親が3歳ぐらいの女の子を抱いている。すでにDOA(Dead On Arrival:病院到着時、心肺停止しているもの)、状態が
悪い。CPR(心肺蘇生)をしながら事情を聴取、地震の際、危ないと思い覆いかぶさった上に家財が倒れ、抜け出せなくなったとのこと。

「助けて下さい」と何度も何度も私に手をあわせる。

数分経つ。駆けつけた医師により死の告知。「私が殺した」と母親が号泣、「くそーくそー」と父親が叫ぶ。胸が傷む。目頭が熱くなる。

この様に、あまりにも唐突の別れに落胆する家族があちこちに見受けられる。夢ではないか、いや夢であってほしいと願う。

覚知より約3時間後、甲南病院へ最初の救急搬送を終える。この間、あまりにも多くの人の死、別れ、涙、絶望、また怒りを目の当たりにし、この
現実離れた現実を受け入れるのには、短すぎる時間であったが、私の心の中には長くつらい時間が残るであろう。

出典：神戸市消防局広報誌「雪」1995年4月号 阪神・淡路大震災 消防職員手記 谷内 康雄 一部抜粋

ペット防災のキホン



災害時はペットと一緒に “同行避難”

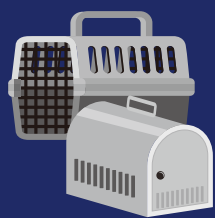
同行避難

避難が必要な場合、飼い主はペットと一緒に安全な場所まで避難することが原則です。

過去の災害では、いったん避難した飼い主がペットを避難させるため自宅に戻ったところ災害に巻き込まれたケースや、ペットが飼い主とはぐれて放浪状態となり、人に危害を加えたり繁殖して公衆衛生が悪化するといった問題が起きました。



必要な “グッズの準備”



クレート・ケージ
キャリーバッグ



食器・紙皿など
ラップを被せて使えば
汚れないので便利です



予備の首輪・リード
(伸びないもの)



フード・水
5～7日分
(普段食べているもの)



トイレ・マナー用品
ペットシートや
処理用具は必須です



常備薬・療養食
多ければ多いほど
安心です

避難所には、全てのペットに対応する備蓄はありません。

ペットへの備えは飼い主の責任として救援物資が届くまでの少なくとも3日以上を用意しておきましょう。

避難所で必要な最低限の “しつけ”

クレート・キャリー



に慣れる



オスワリ

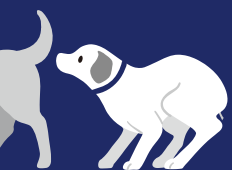


トイレ



吠えない

咬まない



ペットの社会化

クレート&キャリー トレーニング に Try!



注意

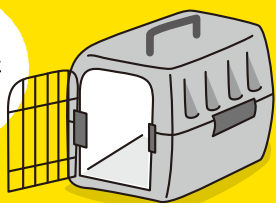
クレートやキャリーに入れないと、避難所での同室避難が難しくなります。

STEP 1

クレート・キャリーを
設置する

【1週間目】

まずは
生活空間に
置くだけ



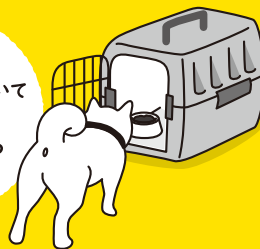
ムリヤリ
入れないでね

STEP 2

クレート・キャリーに
好みのフードを置く

【2週間目】

中にフードを置いて
自分から
入るまで待つ



中に入っても
急に閉めない

NG

STEP 3

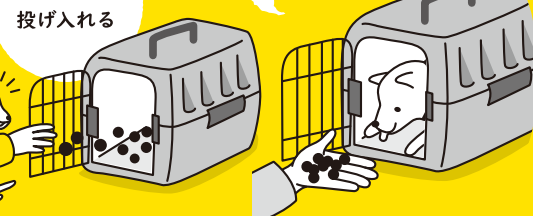
クレート・キャリーにフード
を投げ入れる

【3週間目】

フードを数粒
投げ入れる



中から顔を出した時に数粒



STEP 4

扉を閉める

【達成!】

扉を
閉める

フードを持つと
自分から入るよう
になったら



GOOD

人懐っこく、飼い主以外の人とも仲良くなれば、避難所での共同生活はもちろん、飼い主に万が一のことがあった場合に世話をしてもらいやすくなります。

※社会化やしつけの方法は、ペットの性格や性質によって違います。獣医師や専門家のアドバイスを受けることをお勧めします。

声をかけて
もらいやすい



避難所でも
みんなに愛される

(トラブルに
なりにくい)



府中市の避難所は、
ペットと一緒に生活できる “同室避難” スペースがあります。

同室避難

避難所でのペットの飼育管理は、飼い主が責任をもって行うことが原則となります。
動物が苦手な方や動物アレルギーの方がいますので、お互いの気持ちを尊重しつつ、ルールやマナーを守って避難所を利用することが求められます。

ペットを飼っている人の気持ち

やっぱり避難は車中泊になるのかな？

ペットのトイレが心配

吠えたり鳴いたりしたらどうしよう

ペットは家族だから一緒にいたい

避難所への立ち入りを断られたらどうしよう

餌や水、ケージやリードはあるのかな

避難所にペット専用のスペースが欲しい

ペットの種類ごとにスペースが欲しい

ペットを飼っていない人の気持ち

動物アレルギーだから近寄らないでほしい

ペットから目を離さないで欲しい

鳴き声がうるさい

ルールやマナーを守ってほしい

糞尿やけもの臭くて嫌だ

吠えたり、咬みついたりしそうで怖い

ちゃんとしつけて欲しい

人命を優先して欲しい

やっておきたい “ペットの管理”

不妊・去勢

動物は自らの意思で繁殖をコントロールできません。
年齢や身体状況によっては不妊や去勢手術にリスクが伴う場合があるため、かかりつけの獣医師とよく相談してください。

病気の予防

オスの行動変化

発情中のストレス軽減

望まない妊娠を避ける

1頭のメス猫が…

1年後には
20頭以上

2年後には
80頭以上

3年後には
2000頭以上

メス猫は生後4～12か月で子猫を産めるようになります。
また、年に2～4回発情期があり、1回に4～8頭の子猫を産みます。
【引用】環境省 新・普及啓発用パネル「不妊・去勢手術をして飼いましょう」

ワクチン接種

避難所では、他の動物や人間から感染症をうつされたり、逆にうつしたりする恐れがあります。また、不注意でペットが脱走してしまい、外で感染する可能性もあるため、ワクチンを接種して感染症の蔓延を防ぐことが重要です。

マイクロチップ

狂犬病予防注射済票

鑑札

迷子札

はぐれても “必ず再会” するために

突然の災害により、ペットと離ればなれになってしまう可能性があります。
ペットが迷子になり、どこかで保護されたときに、飼い主がすぐに分かるよう、普段から身元を示すものをつけておくことが大事です。

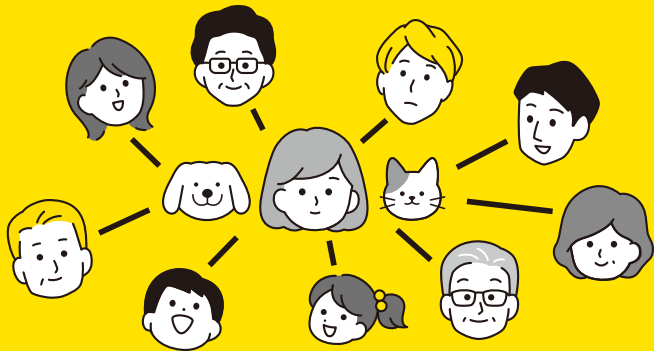
重要 脱走の際に首輪が外れたり、迷子のあいだに痩せて首輪が外れたりすることがあるため、マイクロチップは迷子の二重対策として有効です。

しっかり備えて “在宅避難”

在宅避難

飼い主による “共助”

ペットへの理解があり、共にペットを気にかけてくれる仲間を作りましょう。
自分が動けないときにサポートをお願いしたり、ペットに関する支援情報を共有したりすることができて、心の支えにもなります。



家具等が転倒してペットが怪我をしたり、怖い思いをすると強いストレスがかかってしまいます。
家具類の固定は、大切な家族の一員であるペットの命を守ることに繋がりますのでしっかり対策を行いましょう。



府中市立南町小学校が
東京消防庁の主催する
第21回 防火防災功労賞
優良賞
を受賞しました。

総合防災教育を地域の防災力向上に繋げる取組（府中市立南町小学校）

南町小学校が立地する南町は、令和元年東日本台風が直撃した際に市から避難勧告※が発出された、まさに浸水被害が想定される地域でした。

この経験を機に、あらためて自分たちの「まち」には、災害がいつ起きてもおかしくないという危機意識が高まり、多摩川の氾濫から確実に命を守るための避難所を地域の皆さんや市などと協力して決めました。また、毎年5月に学年ごとに水害避難訓練を行っているほか、毎月の避難訓練に併せて防災に関する授業を行い防災力の向上に努めています。

また、学校を中心にPTAや近隣の自治会、市、消防署、消防団と連携して防災訓練や避難所の開設訓練を行っており、そこでは、6年生が総合防災学習で学んだ成果を地域の皆さんに発表して防災の大切さを伝えるなど、地域のつながりを強化する取組を行っていることが高い評価につながり今回の受賞となりました。 ※令和3年5月の災害対策基本法改正に伴い避難勧告は廃止となり避難指示に統一されました

令和元年度以降の本市における受賞歴

- 第17回(令和2年度) リムザ自治会 優良賞
- 第18回(令和3年度) 都立府中けやきの森学園 優秀賞
- 第19回(令和4年度) 府中市自治会連合会 優秀賞
- 第20回(令和5年度) 緑町自治会 優良賞
分梅町自治会連合会 優良賞
- 第21回(令和6年度) 府中市立南町小学校 優良賞



6年生が防災スリッパの作り方を紹介



6年生が総合防災学習の成果を発表



地域の皆さんと一緒に避難所について学習



学年ごとに水害避難訓練を実施

令和6年度 府中市総合防災訓練の新たな取組 水害車両避難訓練・ペット同室避難訓練・EVサポーター訓練(研修会)を実施しました

9月14日(土)府中第五中学校と10月5日(土)府中第七小学校で行われた府中市総合防災訓練(避難所開設訓練会場)では、本市として初めて多摩川の氾濫を想定した市民による車両避難訓練、ペットと同行避難をしてきた避難者の受け入れ訓練、EV(電気自動車)を所有する市民が避難所の給電に協力する訓練を実施しました。

